



直方南小学校だより

令和7年6月17日(火)

直方市立直方南小学校

No.10 校長 塩田 朋久

避難訓練(火災)を実施しました

本日、避難訓練を実施しました。毎年、どの学校も火災・不審者・地震に対応した避難訓練を実施しています。あってはならないことですが、「万が一」に備えておくためにもとても重要な訓練です。

私ごとですが、大学生の時、住んでいたアパートのある一室から火が出て(ボヤでしたが)、友人と消し止めた経験がありますし、現在は地元宮若市の消防団員として、火災現場に行くこともあります。実際の火災現場は恐怖でしかありません。燃え盛る炎、広がる黒煙。とにかく、自分の命を守るために現場から離れることが一番です。学校では、「お・は・し・も」(押さない・走らない・しゃべらない・戻らない)を徹底して指導しています。今日、子どもたちは、真剣に訓練に臨んでいました。訓練とあわせて、火遊びを絶対にしないことも話しています。

おうちでも、火事のことや火遊びの危険性などをお話していただければと思います。

おさない はしらない しゃべらない もどらない



子育て四訓

「子育て四訓」という言葉をご存じでしょうか。私は4人の子育てを終えましたが、20年以上前にこの言葉と出会い、親として、そして教師として大切な指針としてきました。ご紹介します。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① 乳児はしっかり肌を離すな | ② 幼児は肌を離せ、手を離すな |
| ③ 少年は手を離せ、目を離すな | ④ 青年は目を離せ、心を離すな |

- ① 生まれて1年間は、ほとんど大人のお世話を受けながら生活します。温かい愛情を受ける中で、人に対する信頼を覚え、人間形成の基礎となります。
- ② 幼児期は、乳離れをしますが、一気に離すのではなくて、保護者がそばにいて安心感を得ます。自主性を大切にしていく時期です。
- ③ ここが小学生から中学生にかけての時期になります。この時期は、友だちとの付き合いや心の発達によって社会性が大きく育ちます。ここではしっかりと手を離し、活動範囲を広げてあげなくてはなりません。失敗や過ちをした時に、うそをついたりごまかしたりするとも多々あります。何もかも、子どもが嫌な思いをしないように、失敗しないようにと、「転ばぬ先の杖」ばかりでは自立・自律性が育ちません。でも、目は離さずに、いつでも子どもをフォローできるように見守っていききたいものです。
- ④ 青年期になると、完全に自立していくための自分なりの生きがい、進路を歩んでいく時です。しかし、気持ちの上では心を離さず、応援していく時期です。

子育てには悩みがつきものですが、**距離感も大切**ですね。



★ 直方南小学校 創立150周年記念式典を開催します

記念式典を**11月29日(土)の午前中に開催**する予定です(児童は全員出席です)。内容等は検討中ですので、決まり次第お知らせします。